

長野県佐久平総合技術高等学校

『いじめ撲滅』・『情報モラル』の宣言

いじめ撲滅

「いじめが起きない環境づくり」

まず、「いじめ」というものは私たちにとって身近な存在ということを理解しなければならない。なぜなら、私たち自身が被害者や加害者になりうる可能性があるからだ。何がきっかけでいじめに発展するかわからない。まず加害者は、いじめの種を作らない。次に被害者は物事を荒立てない。傍観者は、止める勇気を持つ。そして、こういった意識を持たせる学校側の環境づくりがとても大切だと思います。生徒に、いじめは身近であることを理解させ、危機意識を持たせるということをしていきたいです。

情報モラル

「情報社会に適応する力を養う」

現在、情報社会に生きています。ですが、それを理解している人が少ないというのが現状だと思われる。

例えば、現在ほとんどの生徒が有している携帯電話。これは、列記とした情報社会に通じる端末です。適切な利用方法が出来ていれば良いのですが、短文投稿サイトなどに誹謗中傷を含んだ書き込みをしてしまう。掲示板などに、相手を煽るような書き込みをする。こういった行為は人を不愉快にするだけでなく、トラブルの原因になる可能性があります。

そして、生徒による書き込みは、監視されているということを周知してもらいたいです。

一番身近な例で、携帯電話を上げましたが、PC、ゲーム機等、インターネットができる全ての端末はこの情報社会につながっています。そして自分自身が情報社会の一員という自覚を持ち情報モラルを守れる社会人になってもらいたいと思います。